

磨き仕上げ



素焼後のウェアは分子中の結晶水が抜けるため水に浸けても溶けることはありません。

ですから水を使い効率的に作業が行えます。

この作業をウェットクリーニングと言います。

ウェットクリーニングには効率的な他にダストが出ない健康上の利点もあります。ダストフリークリーニングの別名もあります。

ただ濡れているとつい磨きすぎてしまうこともあるため、ウェットクリーニングではパーティングラインやカットした溝の断面、大きな補修痕、また義眼を入れる目蓋裏や受け部のみを粗仕上げするくらいにした方が良いでしょう。’



仕上げ研きは一旦乾燥させた後で行います。

スパチュラやスポンジやすり、柔らかい布やすり、ダストを払うチークブラシなどを用います。やすりの番手は400～600番くらいで良いでしょう。

